

第4号議案

早稲田リサーチパーク・コミュニケーションセンター等の管理運営について

早稲田リサーチパーク・コミュニケーションセンターおよび本庄ドミトリーの施設管理、施設運営について、早稲田大学から業務を受託し、このうち、施設管理業務については、株式会社早稲田大学事業部に委託する。

1. 早稲田リサーチパーク・コミュニケーションセンター等の管理運営

業 務：①同センターの清掃、植栽管理、警備および本庄ドミトリーの警備等の管理業務

②同センター内の施設・機器等貸出管理、施設運営企画・実施、地域社会との連携・窓口業務等および本庄ドミトリーの入退居手続き、受付等の運營業務

委託者：学校法人早稲田大学

受託者：財団法人本庄国際リサーチパーク研究推進機構

期 間：2004年4月1日～2005年3月31日

見積額：①1,076,145円（月額・消費税込み）

②1,270,500円（月額・消費税込み）

2. 早稲田リサーチパーク・コミュニケーションセンター等の管理

業 務：同センターの清掃、植栽管理、警備および本庄ドミトリーの警備等の管理業務

委託者：財団法人本庄国際リサーチパーク研究推進機構

受託者：株式会社早稲田大学事業部

期 間：2004年4月1日～2005年3月31日

見積額：1,050,000円（月額・消費税込み）

以 上

2004年度 事業計画（案）

1. 研究開発支援事業

（1）研究開発プロジェクト等の支援活動

本庄地方拠点都市地域において、産学公地域の連携により展開される各分野の研究・技術開発プロジェクトについて、その計画調整から資金調達、チーム編成、連携・協力基盤等のコーディネート、研究成果の事業化などの支援を行うなかで、次世代型地域づくりに向けた本庄地域発の自律的取り組みを推進する。

①小山川・元小山川水環境再生プロジェクト

代表者：榊原 豊 早稲田大学教授

連携等：清流復活元小山川の会、埼玉県環境科学国際センター ほか

事業等：国土交通省「清流ルネサンスⅡ事業」

概要： 本庄地域内を流れる小山川・元小山川の河川環境について、水質汚濁等の直接浄化技術の開発・導入にとどまらず、様々な流入排水負荷の低減策から地下水の涵養と湧水の復活、生物生息環境の修復、親水空間・景観の整備保全などを含めた総合的な地域水環境の再生のための研究活動を、地域の市民活動や関連事業者等との連携・協力のもとに支援する。

②先進コミュニティ交通システム研究プロジェクト

代表者：大聖泰弘 早稲田大学教授

連携等：東京電力株式会社、三井造船株式会社 ほか

概要： 乗用車からの転換利用を促す、特定の地域コミュニティに密着した利便性の高い公共交通システムが求められる中で、本庄キャンパス地域内の私道公道を使用した実車走行ルートにおいて、高効率の蓄電・給電技術を備えた先進小型電動バスの開発・実用化とその運行管理等に関わる実証実験を実施する。これにより、将来的な燃料電池車を含む各種の低公害自動車の導入・普及を支える新たなエネルギーインフラを先行的に整備するとともに、環境配慮を重視した次世代型コミュニティ交通システムの地域モデルを構築する。

③水素エネルギー社会システム研究プロジェクト

代表者：勝田正文 早稲田大学教授

連携等：三洋電機株式会社、三洋アクアテクノ株式会社 ほか

事業等：環境省「水素エネルギー利用に向けた物質・エネルギー循環等基礎調査」

概要： バイオマスや金属廃棄物等を原料とする水素ガスエネルギーの製造および貯蔵、運搬、利用等を行うビジネスモデルについて、その実現可能性の検証に資するために、本庄地方拠点都市地域をモデルとして、物質・エネルギー循環の実態に関する調査検討のための基盤資料を整備する。これをもとに、モデル圏域における合理的かつ効率的な水素エネルギーの導入利用と水素社会構築のためのパイロット

トプランを検討する。あわせて、安全利用への配慮、コスト低減策等を踏まえた水素エネルギー利用に係わる開発技術の事業化計画について検討するとともに、プロジェクトの事業性を確保するための社会的な制度、システムのあり方についても検討する。

④自動車部品のリユース・リビルト普及システム研究プロジェクト

代表者：永田勝也 早稲田大学教授

概要：自動車リサイクルを高効率で実現するとともに、リユース・リビルト部品を積極的に活用するためのシステムの構築が求められている。部品使用の長寿命化を実現するための部品品質の評価や先導的なユーザによる積極的活用、およびそれをサポートする整備業や部品供給業さらには保険業と、多くの主体の参加による実証実験を行い、リユースを促進するための各種技術および社会システム整備の研究を展開している。

⑤エコ燃料利用促進プロジェクト

代表者：納富 信 早稲田大学助教授

概要：バイオマス由来のバイオエタノールを既存のガソリン、重油等に混入した「エコ燃料」は地球温暖化対策に大きく貢献するが、その「エコ燃料」を本庄地域内における自動車や農業機械、ボイラー等の実車・実機に導入して実際に利用することにより、原料バイオマスの確保から収集・運搬、生成プロセス技術と保管・貯蔵技術の開発、供給インフラや利活用対象機器の整備など、「エコ燃料」の普及を促進し、社会システムとして定着させていくための総合的な実証実験の展開を支援する。

⑥精密農法研究プロジェクト

代表者：澁澤 栄 東京農工大教授

連携等：本庄PF研究会

事業等：文部科学省「21世紀COEプログラム」

概要：情報技術ツールとして利用し、作物や土壌の実態を克明に記録しながら、その場その場、作物の個体差にあった処方箋を開発するための基礎データを得るとともに、それらの情報を消費者に提供して、安全で安心、顔の見える農業を実現しようとするプロジェクトである。土中センサーなどこれまで手の届かなかったところの情報を得るためのセンシング技術の開発やインターネットを介した消費者への農作物の情報提供システムの確立などを旨とする。

⑦地域環境情報センター構想プロジェクト

代表者：寺島信義 早稲田大学教授

連携等：本庄市、大成建設株式会社、株式会社グローバルソフトウェア

概要：地域環境の情報をマクロ的・ミクロ的に把握するためには、種々のデータを平易かつ簡便に取り扱うことができるシステムが重要である。そこで、本庄周辺地域の行政情報、医療情報、地図情報、教育情報、農業情報等を集約したデータセンターを最新の情報通信技術を駆使して構築し、地域内が意に広く発信することで地域における環境関連活動の活発化・活性化を目指すものである。

(2) インキュベーション活動

インキュベーションマネージャー（IM）が中心となり、I O C本庄早稲田ベンチャーゾーン（V棟）の入居者に対して、新規事業や第二創業を産・学・公・地域連携により、迅速にかつ確実に成長軌道に乗せることを目標として、経営総合相談、大学や支援機関等とのコーディネート、各種専門家の紹介、交流会・ワークショップ等の開催、情報提供、受付サービスなどのインキュベーション活動を行う。

2. 産学公地域共同研究・研究交流促進事業

(1) 本庄早稲田リサーチパークフォーラム

本庄地方拠点都市地域に関わりのある、産・学・公・地域の幅広い、各界各層の交流活動を促進するため、本庄国際リサーチパーク推進協議会と連携して、各界有識者による講演会、本庄国際リサーチパーク整備を巡る話題、研究開発活動等の紹介、ビジネスプランの発表、交流懇談会等を内容とする「本庄早稲田リサーチパークフォーラム」を開催する。

(2) 本庄早稲田リサーチパークシーズ展

企業の製品・技術の展示、大学・研究機関等のシーズや産学研究の紹介、行政・支援機関等の施策や事例の紹介、企業、大学、研究機関、支援機関等の相談・交流、セミナー・プレゼンテーション・デモンストレーション、など総合的な産・学・公・地域の交流促進を目的とする「本庄早稲田リサーチパークシーズ展」を本庄国際リサーチパーク推進協議会等との共同により開催する。

(3) 本庄地域まちづくり研究会

本庄新都心のまちづくり方向性を踏まえ、地域資源を活用し、ユーザー（大学、企業、住民）の視点にたったまちづくりのための具体的な取り組み、事業方策等について、ハード・ソフトの両面から、本庄市民、行政、早稲田大学および財団の若手を主体とした研究会において検討する。

(4) 産学連携コーディネート活動

本庄地方拠点都市地域およびその周辺を対象として、大学等の研究機関の研究・技術シーズと商品開発、研究開発等に意欲を持つ企業等を掘り起こし、結び付けることを目指す産学連携のコーディネート活動を展開する。

(5) 地域再生構想提案に基づく事業活動

内閣府の地域再生本部による地域再生構想募集に際して、早稲田大学と共同で「エコユーザーの育成と参加を通じた〈自律・循環〉の地域づくり」をテーマとして、次のような提案をしている。

今後、本庄キャンパスへの展開が本格化する早稲田大学において、「領域統合型」の実践的教育・研究を志向する理工学系および人文・社会系の研究者集団と、すでに地域内の市民活動等を通じて形成されつつある環境配慮意識の高い「エコユーザー」層との活発な連携・参画・協働により、本庄地域を広大なフィールドとする環境関連の先導的な実証実験プロジェクトを展開する。

3. 人材・地域企業育成事業

(1) 小・中学生を対象とした学習支援プログラム

本庄国際リサーチパーク推進協議会、早稲田大学と連携して、「早稲田ベンチャー・キッズ in 本庄拠点」(会社づくりの疑似体験プログラム)、「親子CG教室」(コンピュータ・グラフィックス)、早稲田大学本庄高等学院と連携して「夏休み/冬休みスーパーサイエンス教室」(科学実験教室)等を実施する。

(2) 本庄拠点市民大学

本庄国際リサーチパーク推進協議会と連携して、本庄拠点地域住民を対象とした市民大学講座を実施する。これまで実施してきた地域の環境推進リーダー育成のための「本庄拠点環境大学」をはじめ、地域の人材育成に資する成人向けの事業を展開する。

(3) セミナー、研究会等

- ① 企業、支援機関等を対象として、起業家養成、経営関係、技術開発、研究開発等をテーマとする「研究開発セミナー」、「インキュベーションセミナー」、「ワークショップ」等を本庄国際リサーチパーク推進協議会と連携して開催する。
- ② 早稲田大学、本庄国際リサーチパーク推進協議会と連携して、地域文化の向上に資する住民向けの「教養講座」、「地域交流講座」等を展開することにより、大学と地域との相互交流を深め、地域への理解、浸透を図る。
- ③ サロン型研究会として活動を展開している「本庄食農環境研究会」、「同ものつくり分科会」を継続して開催する。

4. 調査研究報告書等刊行事業

当該年度の事業活動等の状況を報告書としてとりまとめ、地域企業や住民等を中心に一般に配布することにより、活動状況を広く周知するとともに活動成果を社会に還元する。

また、研究会等の活動報告、調査報告等についても、適宜刊行する。

5. 研究教育施設の管理運営事業

(1) IOC 本庄早稲田の管理運営

① 賃貸業務

A、B棟計80室について、地域振興整備公団から賃借し、早稲田大学に賃貸する。

② 管理業務

A、B、Vの全棟について、所有者であり、V棟を使用する地域振興整備公団、A、B棟の使用者である早稲田大学から、清掃、警備、設備等の管理業務の委託を受け、株式会社早稲田大学事業部に再委託する。

③ 運営業務

経済産業省からの補助金および早稲田大学から委託を受けて、V棟のIM室にインキュベーションマネージャーを配置し、入居者支援をはじめ、起業家支援、棟内外の産学連携、研究開発支援、受付等庶務などの業務を行う。

(2) 早稲田リサーチパーク・コミュニケーションセンターの管理運営

①管理業務

建物全体の清掃、警備等の管理業務について、早稲田大学から業務委託を受け、株式会社早稲田大学事業部に再委託する。

②運営業務

早稲田大学から委託を受けて、施設内の庶務、教室・機器等の貸出管理、施設運営の企画・実施、地域社会との連携・窓口業務、大学院・研究センター等業務支援などの運営業務を行う。

(3) 本庄ドミトリーの運営

早稲田大学から委託を受けて、本庄ドミトリーの入居者手続き、家賃等徴収、受付窓口等の運営業務を行う。

6. その他

(1) PR事業

- ① Web サイト（ホームページ）について、適正な運用を図り、適切な情報を発信する。
- ② 現在発行している紹介用のパンフレットについて、必要に応じて随時更新していくと同時に、当該年度の活動状況、セミナー・研究会等各種情報等の提供を目的とするニューズレター、チラシ、冊子等を発行する。
- ③ 本庄国際リサーチパークの見学・訪問に対する効果的なプレゼンテーションを実施し、ブランドイメージを醸成して、産学連携の活性化、円滑な企業等誘致に繋げる。

(2) 賛助会員の募集活動

財団の財政基盤を安定させ、積極的な事業活動の推進を図るため、昨年度に引き続き、法人・団体の賛助会員の募集活動を積極的に推進する。

以 上

2004年度収支予算

2004年4月1日から2005年3月31日まで

科 目	2003年度予算	2004年度予算(案)		備考
I 収入の部	円	円		
1 会費収入	9,400,000	8,050,000	30万円×22社、入会金等	
2 事業収入	201,751,121	257,923,744		
(1) 業務受託収入	5,200,000	8,300,000	本庄国際サーチパーク推進協議会からの委託	
① 研究交流・連携促進事業	1,700,000	2,800,000	交流会、シズ'展等	
② 企業支援事業	1,000,000	1,000,000	セミナー等	
③ 人材育成事業	2,500,000	4,500,000	小中学生支援、市民大学、地域交流等プログラム	
(2) 人材育成事業収入	500,000	500,000	参加者負担金	
① 小中学生プログラム	200,000	200,000	参加費等(5千円×40人)	
② セミナー・講座等	300,000	300,000	受講料等(5千円×60人)	
(3) 管理事業収入	157,651,121	249,123,744	研究教育施設管理運営	
① インキューベーションオンキャンパス 本庄早稲田賃貸料	82,555,200	87,522,624	早大からの賃貸料	AB棟
② 同 管理運営費	75,095,921	77,598,180	早大からの管理運営費	AB棟
③ 同 管理業務受託費	0	55,843,200	公団から受託	ABV棟全体
④ 早稲田リサーチパーク・コミュニケーションセンター等管理運営費	0	28,159,740	早大から受託	本庄ドミトリーを含む
(4) 早大環境総研運営業務委託事業	38,400,000	0		
3 補助金等収入	16,295,000	14,994,400		
(1) 広域の新事業支援連携等事業費補助金	16,295,000	14,994,400	新事業育成専門家配置、交流促進、情報提供等	経済産業省
4 雑収入	391,000	391,000		基本財産運用
当期収入合計(A)	227,837,121	281,359,144		
前期繰越収支差額	11,861,667	11,861,667		
収入の部合計(B)	239,698,788	293,220,811		

科 目	2003年度予算	2004年度予算(案)		備考
II 支出の部	円	円		
1 事業費	197,346,121	237,800,000		
(1)産学公地域共同研究 ・研究交流促進事業	2,588,000	5,400,000	交流会、シース展等	協議会と連携
(2)人材・地域企業育成事業	3,500,000	7,500,000	セミナー、講座、市民大学等	協議会と連携
(3)報告書等刊行事業	3,300,000	3,300,000	報告書、年報等	
(4)施設等管理運営事業	149,468,121	216,600,000		
①インキュベーションオンキャンパ ス本庄早稲田賃借料	82,555,200	87,522,624	公団への賃借料	AB棟
②同 管理費	75,095,921	50,343,840	公団への管理費	AB棟
③同 管理業務委託費	0	49,737,555	管理業務委託	ABV棟全体
④同 運営	0	13,914,800	新事業育成専門家配置に よる運営業務	経済産業省補助
⑤早稲田リサーチパーク・コミュ ニケーションセンター・本庄トミ トリ管理業務委託費	0	12,600,000	管理業務委託	
⑥同 運営	0	2,481,181	運営業務	
(5) 早大環境総研運営業務 委託事業	28,800,000	0		
(6)PR事業	9,690,000	5,000,000	ホームページによる情報提供事 業、パンフレット等	
2 一般管理費	28,200,000	40,840,000		
(1)給料手当	17,800,000	28,600,000	出向者負担、通勤費等	業務増の増員分
(2)福利厚生費	500,000	600,000	労災保険、研修等	(1)増額に伴う
(3)会議費	600,000	600,000	理事会、評議員会等	
(4)委託費	1,000,000	2,000,000	税務、総務等委託	業務アウトソーシング
(5)旅費交通費	2,400,000	2,400,000	出張費、乗車費等	
(6)通信運搬費	720,000	720,000	電話、運搬、郵送等	
(7)什器備品費	500,000	500,000	情報機器、備品等	
(8)消耗品費	800,000	1,000,000	事務用品、用紙等	業務量増加
(9)修繕費	200,000	200,000	機器備品等修繕	
(10)印刷製本費	1,500,000	1,500,000	コピー代等	
(11)燃料費	156,000	120,000	ガソリン	
(12)光熱水料費	204,000	600,000	電気、水道	新事務所
(13)賃借料	1,200,000	1,200,000	複写機、車両等	
(14)交際費	120,000	0		
(15)負担金支出	200,000	300,000	学会・セミナー等参加	対外交流増加
(16)雑費	300,000	500,000	租税公課、図書等	業務量増加
3 特定預金支出	720,000	0		該当者がいない ため規定未整備
(1)退職給与引当預金	720,000	0		
4 予備費	1,571,000	2,719,144		
当期支出合計(C)	227,837,121	281,359,144		
当期収支差額(A)-(C)	0	0		
次期繰越収支差額(B)-(C)	11,861,667	11,861,667		